



# 取扱説明書

---

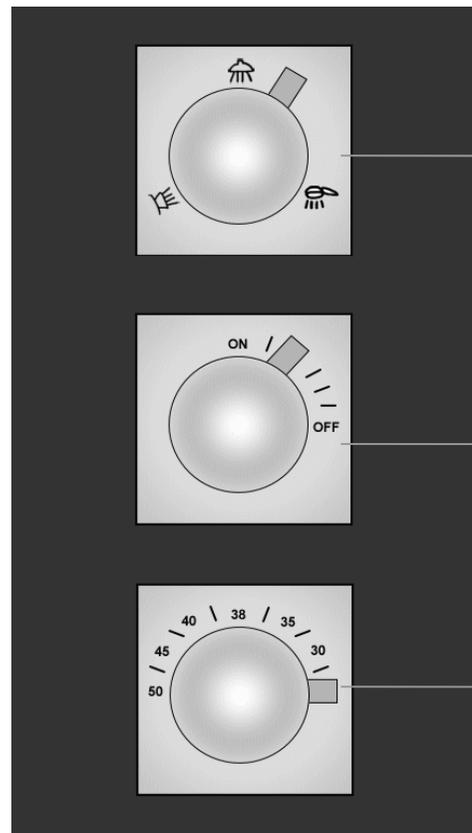
シャワーブース  
SS0810, SR0909





# サーモスタット

— 右図参照



シャワー口切替ハンドル

ON / OFFハンドル

サーモスタット温度調整ハンドル



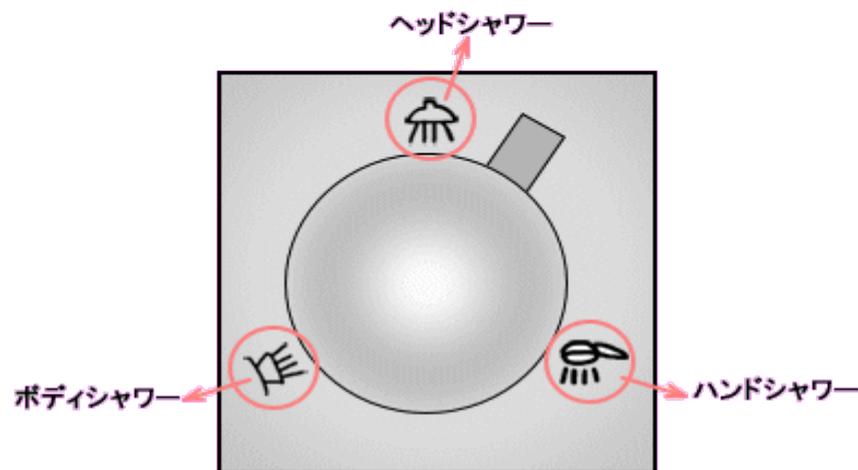
# サーモスタットご使用方法1

- サーモスタットご使用方法

- 一番上のハンドルはシャワー出口の切替ハンドルとなっています。ハンドルを上に合わせてることにより、ヘッドシャワーより、正面右はハンドシャワーより、正面左はボディシャワーよりお湯がでてきます。

■シャワー口切替ハンドル■

ハンドルでお湯の出口をヘッドシャワー、ハンドシャワー、ボディシャワーより切替えます



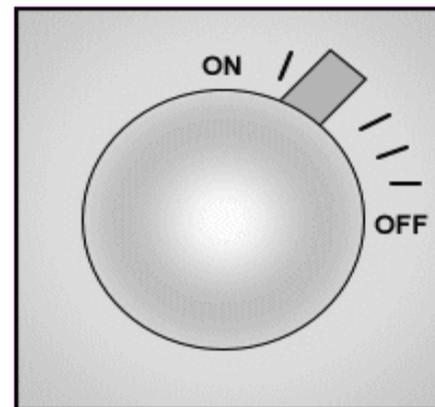
# サーモスタットご使用方法2

- サーモスタットご使用方法

- 真ん中のハンドルはお湯のONとOFFの切替ハンドルとなっています。ハンドルを上に合わせてることにより、お湯が出て、正面右へハンドルを回していくと湯量が減り、OFFに合わせてるとお湯は止まります。

■ON/OFFハンドル■

お湯のオンとオフを切替、湯量も調整できます

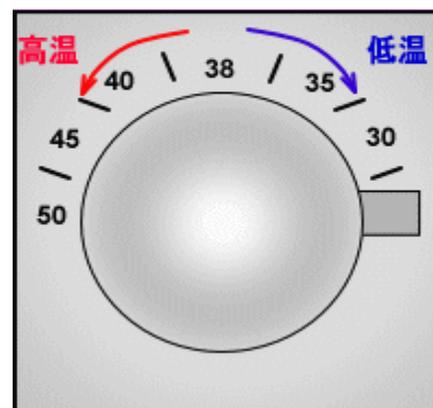


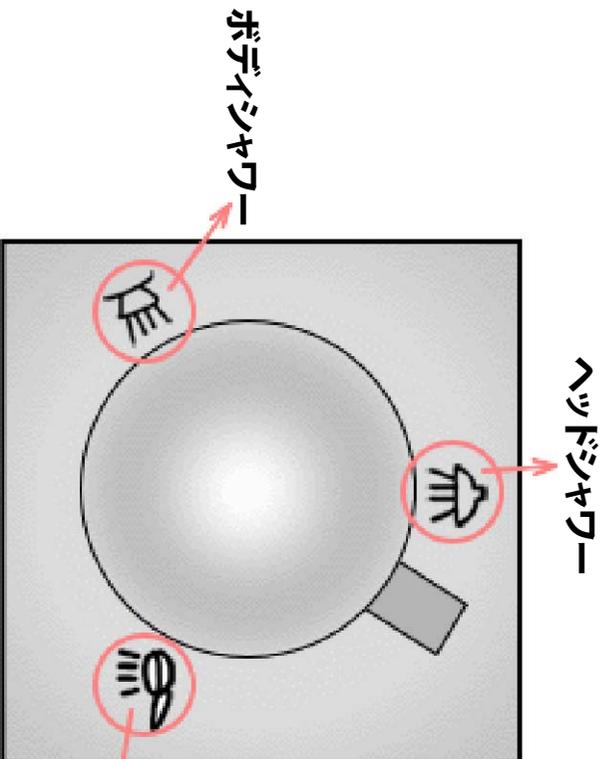
# サーモスタットご使用方法3

- サーモスタットご使用方法

- 一番下のハンドルはお湯温度を調整するサーモスタットです。正面左へ回すと湯温が上がります。通常、38度以上には上がらないようになっていますが、ポッチを押しながら回しますと38度以上の高温でできるようになります。正面右へ回すと湯温は下がります。快適な温度に設定してください。なお、38度以上に上げますとやけどの危険がございます。お気をつけください。
- 次ページを表示用パネルとして御使用下さい

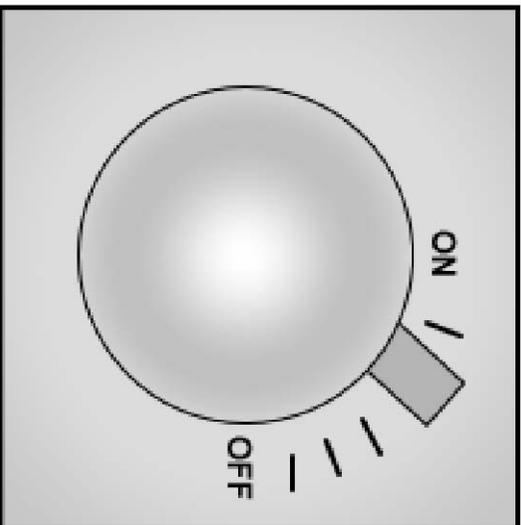
■サーモスタット温度調整ハンドル■  
お湯の温度を調整



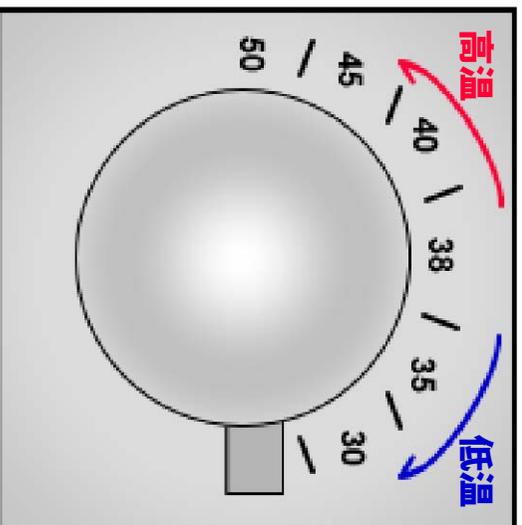


■シャワー口切替ハンドル■  
 ハンドルで湯水の出口を左右に回し、  
 ヘッドシャワー、ボディシャワー、  
 ハンドシャワーより切替

ハンドシャワー



■ON・OFFハンドル■  
 湯水のオン・オフの切替  
 湯量も調整できます



■サーモスタート湯温調整ハンドル■  
 湯水の温度を左右に回し切替



# サーモスタットお取扱上の注意

---

- サーマスタットお取扱上の注意
  - 熱湯が出てくる場合もございますので、お湯への切り替えには十分ご注意ください。
  - 給湯器の性能などにより、お湯が出てくるまで1分以上掛かることも御座います。予めご了承下さい。
  - 水圧の不足や水量の不足により、備付の給湯器が作動しない場合もございます。
  - その際は使用を止め、施工店などにお尋ね下さい。
  - ガス給湯器などはある程度の水量が必要となり、少量のお湯ですと不完全燃焼の原因になります。ご注意ください。

# シャワーブースお取扱上の注意1

## シャワーブースお取扱上のご注意

- 給湯・給水にはボールバルブ(別売 国産認定商品)を必ず設置してください。
- 本商品は、人造石および樹脂製の素材でボディーを製造しております。高温、衝撃を与えると表面に傷がつくことがございます。ご注意ください。また、万が一、傷などがついた場合、本体の構造に問題のない箇所であればカッターの刃先などで削り込みが可能です。(刃物の取り扱いには十分にご注意下さい。)
- 本商品は、製品の一部にガラス(強化ガラス)やアクリル樹脂を使用しております。強い衝撃や、金属などの突起物の接触、過度の加重などは、ガラス部品などの破損や不具合の原因となります。ガラス部品などは破損した場合、重大なケガの原因となり、大変危険です。幼児や、ガラス部品を認識できない方、自立不可能な高齢のお客様のご使用はおやめください。また、万が一、ガラス部品などの破損により、ケガなどの事故が発生した場合、直ちにご使用を中断し、外科医などの専門医にご相談ください。ドアの開閉時のお取り扱いにはご注意ください。
- ご使用時に水量が多すぎる場合や、長時間の放水などで排水トラップの処理ができない場合もございます。予め適度な水量でご使用になることをお勧めいたします。
- 施工時にパネルジョイント部分などにシリコン系樹脂コーキングを施してあります。コーキングの劣化は水漏れの原因となりますので、定期的にご確認下さい。
- 本商品は簡易設置型シャワーブースのため、ブース自体には固定器具がございません。基本的に自立するように設計しておりますが、万が一転倒の恐れがございます場合には壁面などにしっかりと固定してください。一般的には天井の高さがブースに接触する状態であれば転倒しません。
- バックパネル部分の裏側に各種循環ホースが内蔵されています。循環ホース内のパッキンが劣化して、漏水する場合はすぐに使用をやめ、パッキンを交換してください。パッキンの耐用年数は5～10年ですが、場合によっては前後いたします。



# シャワーブースお取扱上の注意2

---

- 本商品は海外の工場にて製造しており、品質には万全を期しておりますが、万が一、商品に不備、不良などがございましたらお手数ですが弊社までご連絡お願いいたします。
- 品質、性能につきまして弊社にて製品の保証書を発行いたしております。ご必用のお客様は弊社営業部045-625-0065までご連絡下さい。
- 心臓に疾患のある方や、高血圧などの症状のある方はご使用にならないで下さい。
- 電気式給湯器等をご使用の場合、水圧を1.5kgf/cm<sup>2</sup>以上確保して下さい。水圧不足はサーモスタットの不具合の原因となります。あらかじめ水圧のご確認をお願いします。必要水圧1.5kgf/cm (≒0.15Mpa)。

# お掃除、メンテナンス上の注意

## お掃除、メンテナンスのご注意

- 本商品は、樹脂製の素材でボディーを製造しております。薬品や摩擦を与えると商品の破損の恐れがございます。ボディー部分のお掃除などは、中性洗剤を希釈してお使い下さい。また、やわらかいスポンジなどで軽くこする程度で洗浄してください。漂白剤や酸性の薬品は使用しないで下さい。黄ばみ、変色、劣化の原因となります。
- 万が一、樹脂製パーツに傷などが入った場合は、水ペーパーの＃1000以上で磨きこんでください。※この際、あまり大きな傷や破損がある場合はパテ等の補強を行ってから仕上げてください。
- 正面にガラス製品を使用しております。ガラス専用クリーナーやガラス用洗剤にて洗浄してください。ワックスや曇り止めは洗剤により、斑などになることもございます。各種洗剤メーカーにあらかじめお問い合わせ下さい。
- 施工時にパネルジョイント部分などにシリコン系樹脂コーキングを施してあります。コーキングの劣化は水漏れの原因となりますので、定期的にご確認下さい。
- シャワーブースを固定してある部分を定期的に検査してください。万が一、緩みやぐらつきがある場合には、再度固定しなおしてください。通常使用時には、転倒の可能性はございませんが、地震などの災害時の対応策として、固定することをお勧めいたします。※一般的には天井の高さがブースに接触する状態であれば転倒しません。
- バックパネル部分の裏側に各種循環ホースが内蔵されています。循環ホース内のパッキンが劣化して、漏水する場合はすぐに使用をやめ、パッキンを交換してください。※パッキンの耐用年数は5～10年ですが、場合によっては前後いたします。